



セレクションアンドバリエーション オフィシャルレポート

男性役職者割合の推移から 読み取るキャリア傾向の変化

【SV-OR1501】



作成：平康慶浩

2015年6月19日

セレクトションとは淘汰 バリエーションとは多様性

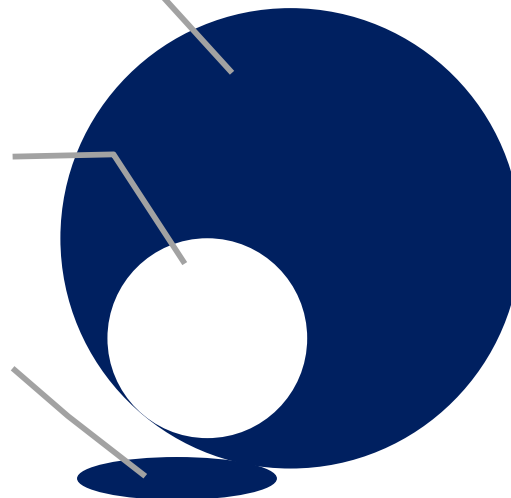
淘汰と多様性を生み出すための
人事マネジメントの改革で
企業とビジネスの進化(成長と発展)を実現する
それがセレクトションアンドバリエーションの願いです

地球の青い海をイメージすることで多様性をあらわしています

海の中の陸地を示すことで淘汰の必要性を示しています

進化には影がつきものであることを私たちは忘れていません

ロゴマークに込めた思い



セレクトションアンドバリエーション株式会社

URL <http://www.sele-vari.co.jp/>

設立 2006年3月有限会社として設立
2011年6月株式会社化

資本金 300万円

代表取締役:平康慶浩

主な事業内容:人事・組織コンサルティング

取引銀行:三菱東京UFJ銀行 堂島支店

三井住友銀行 梅田支店

顧問税理士:ウィンドローズ税理士法人

大阪オフィス:大阪市西区西本町3-1-7

日宝アワザ駅前ビル405

東京オフィス:東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山1403

代表電話:06-6536-6536 FAX:06-6536-6586

代表E-mail: info@sele-vari.co.jp

加盟団体:大阪商工会議所 東京商工会議所

加盟学会:進化経済学会、日本労務学会

提携先:SMBCコンサルティング/日本総合研究所

/なぎさ監査法人(大阪)/はやぶさ監査法人(東京)

/ビジネスパブリッシング(月刊人事マネジメント発行)

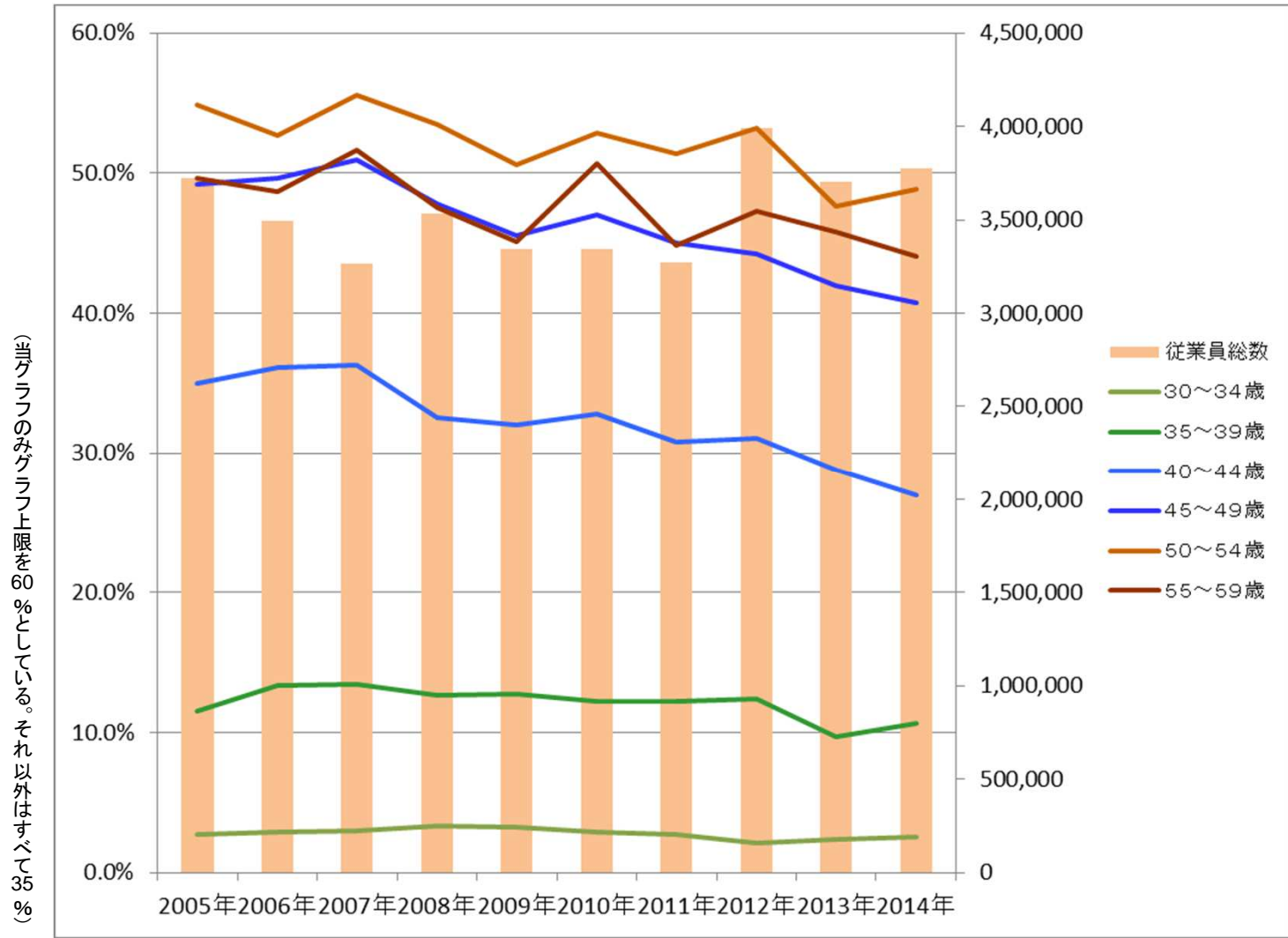
/株式会社アイキュー/HRビジネスパートナーズ

男性役職者についての分析

【要旨】

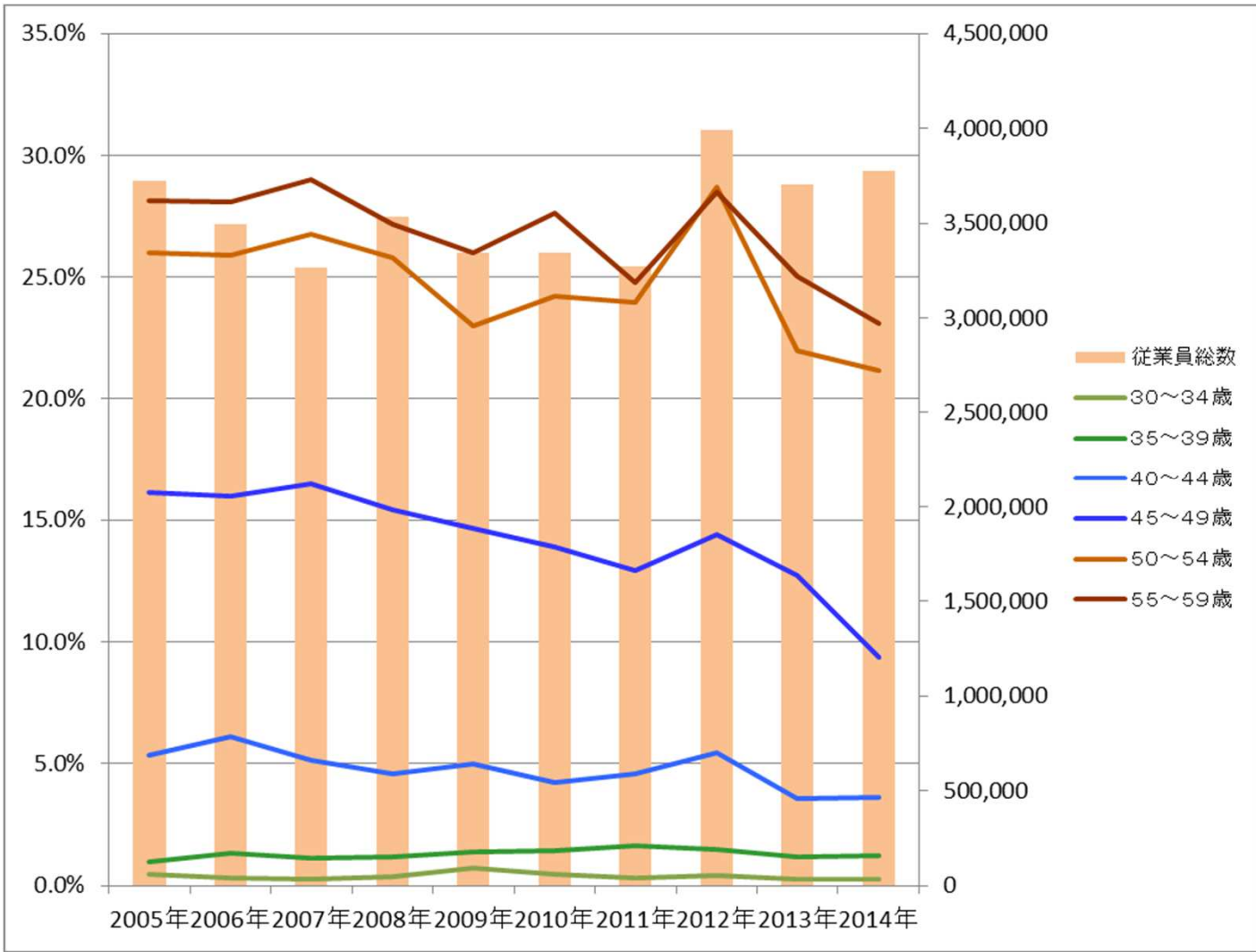
- ① 管理職割合は減少傾向にあるが、減少幅は大きくはない
- ② より大きな傾向はキャリアのゴールが部長級から課長級、係長級に低下していることにある
 - A) 45歳以上層における部長級割合が大きく減少している
 - B) 2012年以降、45歳以上層の課長級割合が増加している
⇒A)B)から、部長級選抜の厳格化傾向の可能性
 - C) 係長級は34歳以下層を除いて増加している
⇒管理職手前の係長級で終了するキャリアが増加している可能性

ほぼすべての年齢階層において、管理職(部長級および課長級)の割合は減少



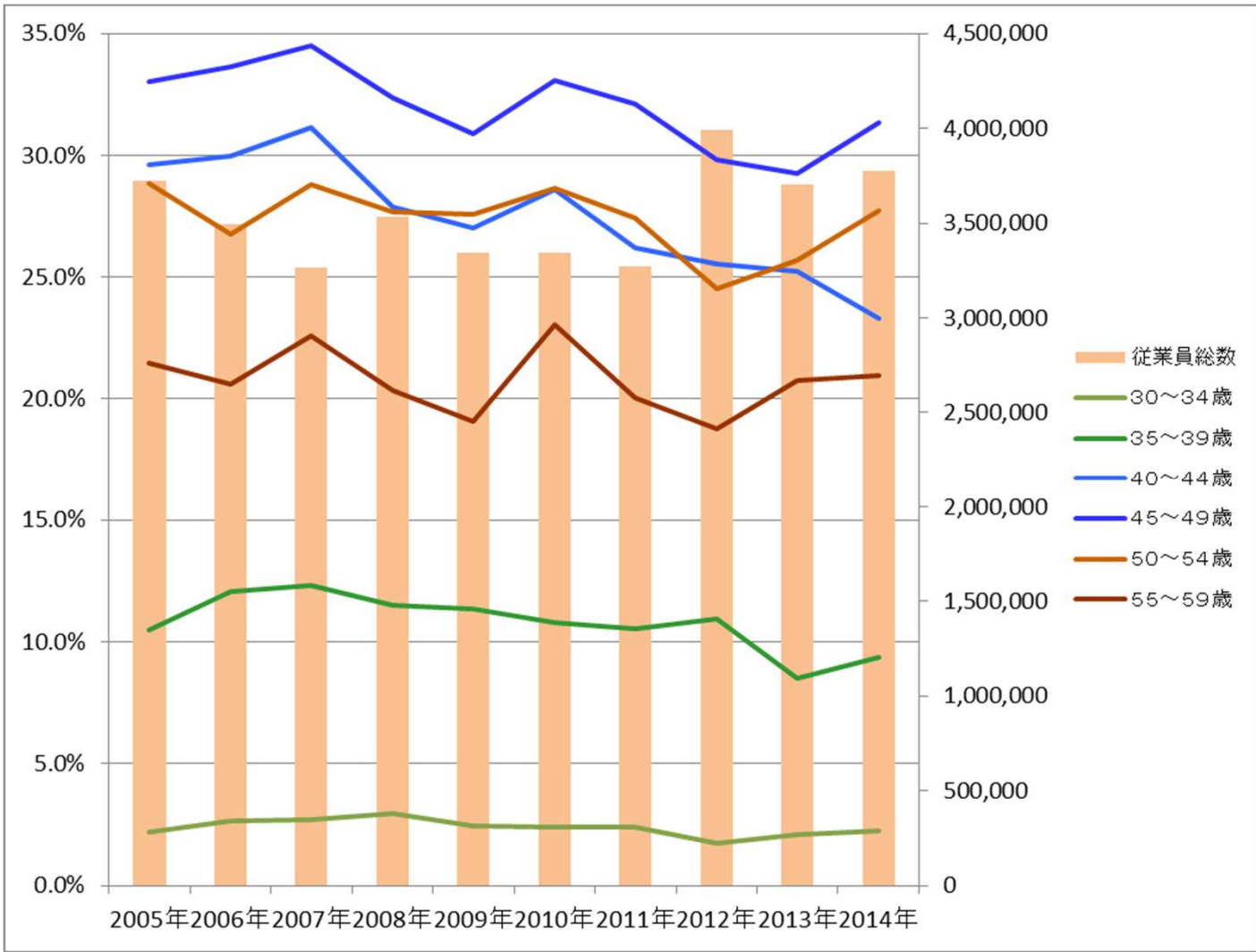
賃金構造基本統計調査 2005年～2014年をもとに平康慶浩作成

部長級割合も全体として減少傾向にある
特に45歳以上層全体において、2012年以降の減少傾向が強い



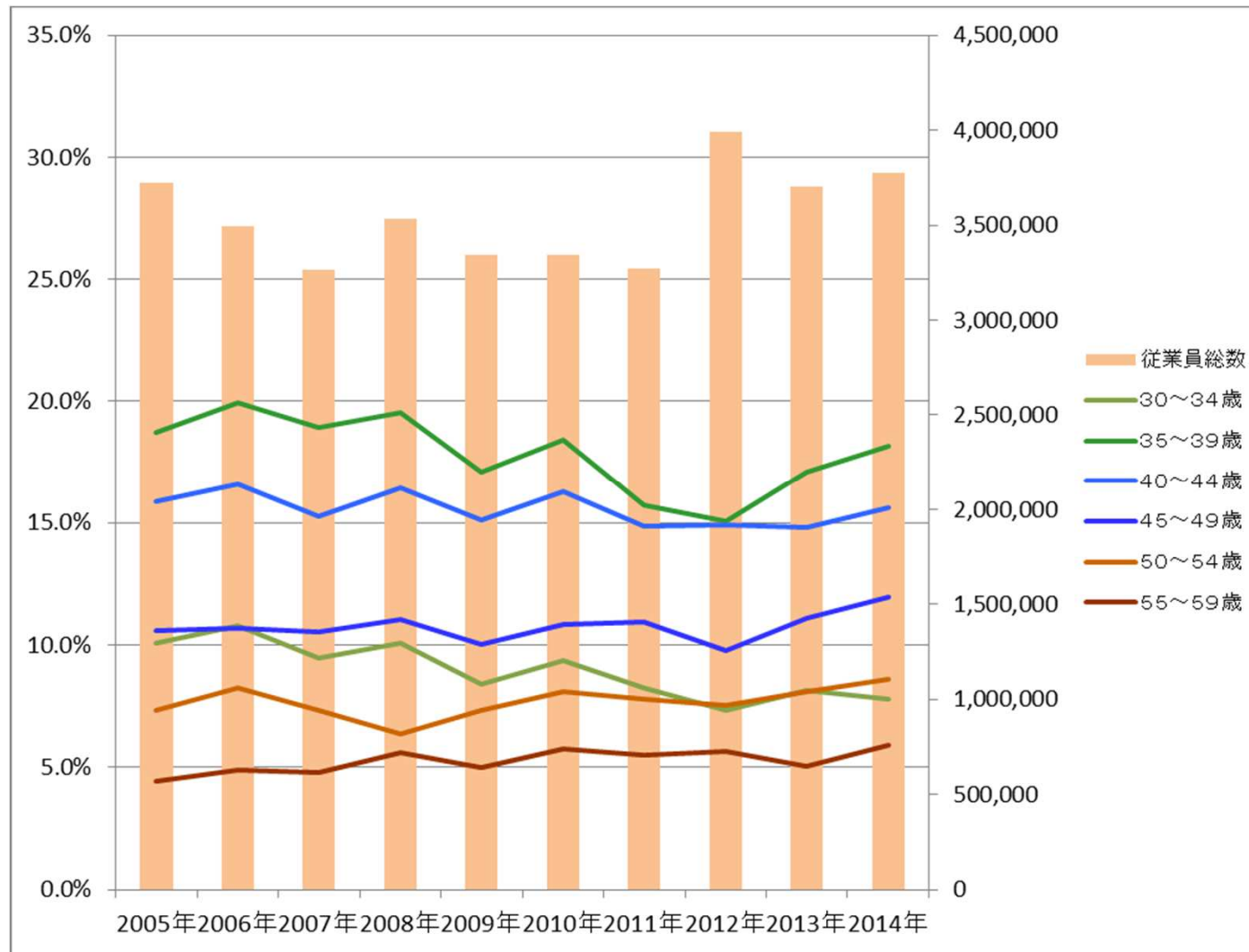
賃金構造基本統計調査 2005年～2014年をもとに平康慶浩作成

**課長級割合も全体として減少傾向にある
ただし、45～54歳層については2012年以降増加傾向にある**



賃金構造基本統計調査 2005年～2014年をもとに平康慶浩作成

係長級割合は多くの年齢層で増加傾向にある
30～34歳層でのみ減少



賃金構造基本統計調査 2005年～2014年をもとに平康慶浩作成



**当レポートについてのお問い合わせ、取材依頼は
下記までお願いします。**

メール: info@sele-vari.co.jp